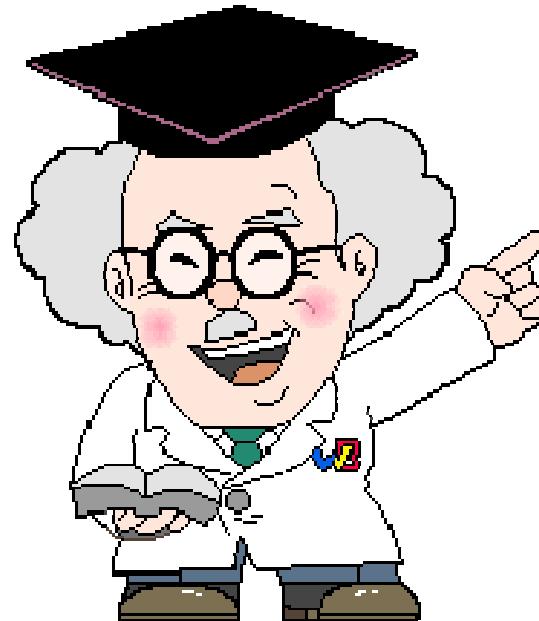


任用試験発心教材

問題編



任用試験発心教材

発行所: ウィンベル教育研究所
<http://www.winbell-7.com>
E-Mail: teacher@winbell-7.com

※この教材は、ウィンベル教育研究所の
ホームページでも入手できます。
ホームページ上で練習ができる
『挑戦問題集』もご活用ください。

【任用試験発心教材の使用方法】

ポイント①

この教材は、任用試験受験者が試験本番さながらの気持ちで勉強できるように、構成されています。また、仏法用語（教学入門）を体系的に、身につけることができるよう構成してあります。ルビのない漢字にルビを書き入れるのも勉強です。

ポイント②

最初の勉強は、「大白蓮華」を手元に置き、正確に解答を作成してください。また、不明な点は担当講師に指導を受けて、正確に勉強してください。

ポイント③

○×問題は、○・×をつける理由をしっかりと勉強してください。

ポイント④

この教材は、任用試験範囲外の仏法用語も使用します。特に、混同しやすい仏法用語の意味を明確に勉強しましょう。

ポイント⑤

この教材に使用した用語の意味・説明等は、「仏教哲学大辞典」（創価学会版）を参照しています。また、各問題は、任用試験過去問を参考に作成しています。

戸田城聖先生いわく、『「御書」は武士にとっての刀と同様である』と、

この教材が、あなたの血肉とならんことを祈ります。



教学入門を制覇する問題／問題編

問一 次の『日蓮大聖人の御生涯』の説明文の()に適切な言葉を書き入れ文章を完成しなさい。

大聖人は、鎌倉・京都・奈良等の諸大寺を巡る遊学をされ各宗派の教義の本質を検証されました。その結果として、次のような結論に至つたと拝察できます。

①()こそが釈尊の説いた一切經のなかで最も勝れた經典である。

②自身が悟つた妙法は、法華經の肝要の法である南無妙法蓮華經であり、釈尊の滅後においては、()を人々を救う法として弘めるべきである。

③肝要の妙法を悟つた自身は、法華經において末法の人々を救う使命を仏から託された()の菩薩に当たる。なかんずく、その上首()菩薩の再誕として末法救濟に先駆して戦い、凡夫成仏の妙法を末法流通の法として顕していく使命がある。

④今の日本に弘められている諸宗の教義には、正法である法華經に背く“()”の要素がある。この諸宗の()を責めれば、大難(だいなん)が押し寄せてくるのは必然である。

問二 『日蓮大聖人の御事蹟』に関し、問い合わせに答えなさい。

一、次にあげた二つの年月日に相当する大聖人の御事蹟を【 】に書きなさい。

建長五年(一二五三年)四月二十八日



【 】

】

弘安二年(一二七九年)十月十一日



【 】

】

*参考→「出世の本懷」を学習しておきましょう。

二、次の文の(①)から(③)に適切な言葉を書き入れなさい。

立正安國論は文応元年七月十六日、()に対し提出された御書で、念佛の邪義を破折されるといふに、()と()の一難が予言されています。

ヒン
テ

①の答え () ↑時の権力者

②の答え () →内乱

③の答え () →侵略

三、竜の口の法難・佐渡流罪に関連して次の問いに答えなさい。

イ、竜の口の法難の月日を書きなさい。

〔文永八年 月 日〕

※参考→「発迹顯本」を学習しておきましょう。

口、佐渡流罪中に大聖人が著された次の二編の御書を何の書と呼びますか。

かいめいしょう
開目抄 () 開顕の書

かんじんのほんぞんしょう
觀心本尊抄 () 開顕の書

四、竜の口の法難・佐渡流罪以外に大聖人が受けられた大難の名を三つ(いずれも地名がついています。)あげなさい。

() () () () ()

問三 次の文は『十界』のどの界を説明したものですか。()の中に十界の名称を書き入れなさい。

イ、苦しみに縛られ、やり場のない恨みの心をもつ、不自由で最低の境涯。

ロ、目先のことになるとわざ、ものごとの道理に暗い、愚かな境涯。

ハ、「法のため」「人のため」という使命感を持ち、「慈悲」を現し、その慈悲を生き方の根本にすえる境涯。

二、自分が優れ他人が劣っていると思ひこみ、「勝他の念」をもつ境涯。

《答え》

イ、()界 口、()界

ハ、()界 ニ、()界

問四 次の文の()に適切な言葉を書き入れなさい。

十界互具とは、()の各界が互いに()を具えている」と言います。

十界互具の法理は、()のいかなる衆生の生命にも()が具わる」とを明かしたもので
す。

十界互具とは、万人がそれぞれの生命の基調を()の方向へ転換していくことを示す
「()」の法理なのです。

問五 次の文の()に適切な言葉を書き入れなさい。

新池御書では、「()おそるべし炎を以て家とす、()悲むべし飢渴にうぐて子
を食ふ、修羅は鬪諍なり・畜生は残害として互に殺しあふ」と、境涯についての説明されています。

(御書一四三九ジー)

問六 『信行学』の重要性を述べられた諸法実相抄の御文のうち、その一節を書きなさい。

問七 次の文の()には二つの言葉が入っています。正しいほうの番号を○で囲みなさい。

(1、自行 2、化他)は自分が法の功徳を得るために修行する」とで、(1、自行 2、化
他)とは他人に功徳を受けさせるために仏法を教える実践をいいます。

具体的には、勤行は(1、自行 2、化他)にあたり、弘教は(1、自行 2、化他)にあ
たります。

問八 次の『立正安國』について、()に適切な言葉を書き入れなさい。

()とは、正法を人々の信仰のよりどころとして確立する」と、()とは社会
の平和・繁栄と人々の生活の安穏を実現することです。

問九 『三障四魔』について、次のア～キの文章にあてはまる適切なものを下段の①から⑦の用語から選び、ア
～キの記号で答えなさい。
わんしょうしま

ア、修行者の生命を^た断つことによつて修行を妨げようとする魔のことです。

イ、貪り、瞋り、癡などの自身の煩惱が信心修行の妨げとなることをいいます。

ウ、自分の生命に刻まれた悪業が信仰を妨げるものです。

エ、貪り、瞋り、癡(貪・瞋・癡)などの煩惱が起つて信心を破壊すること。

オ、信心修行者の五陰(肉体や心の働き)の活動の不調和が信心修行の妨げとなること。

カ、他化自在天王(第六天の魔王)による働きで、生命の根本的な迷いから起るものです。

キ、三惡道(地獄・餓鬼・畜生)や誹謗正法等の惡の報いとして起つてくる障りをいいます。

- ① 煩惱障 () ② 業 障 () ③ 報 障 ()
④ 陰 魔 () ⑤ 煩惱魔 () ⑥ 死 魔 ()
⑦ 天子魔 ()

問十 『三類の強敵』について、次の①～③の用語は後ろのどの説明文にあてはまりますか。アからウの説明文の()に①～③の記号で答えなさい。

- ① 僧聖増上慢 ② 道門増上慢 ③ 俗衆増上慢

ア、法華經の行者を迫害する、仏法に無智な衆生をいいます。

イ、法華經の行者を迫害する、比丘(僧侶)を指します。

() ()

ウ、人々から仰がれている高僧で、ふだんは世間から離れたところに住み、自分の利益のみを貪り、恶心を抱いて、法華經の行者を陥れようとします。

() ()

問十一 前問の『三類の強敵』の手口を後ろの文章から選び、それぞれア～ウの記号で答えなさい。

- ① 俗衆増上慢 () ()

ぞくしゅうぞうじょうまん

てぐち

てぐち

() ()

ぞくしゅうぞうじょうまん

てぐち

てぐち

() ()

ぞくしゅうぞうじょうまん

てぐち

てぐち

() ()

② 道門増上慢 ()

③ 僧聖増上慢 ()

ア、国王や大臣等に向かって、法華經の行者を邪見の者であるなどと讒言し、権力者を動かして弾圧を加えさせるように仕向ける。

イ、真実の仏法を究めていないのに、自分の考えに執着し、自身が偉いと思い、正法を持った人を迫害していく。

ウ、法華經の行者に対して、悪口罵詈等をし、刀杖で危害を加えることもある。

問十二 次の説明文のうち、正しいものには○、誤っているものには×を()に書き入れなさい。

イ、() 釈尊の十大弟子の一人で智慧第一といわれた舍利弗も、ただ信受することで法華經の法理を体得できた。

ロ、() 自身の外の条件に左右される六道の境涯は、本当に自由で主体的な境涯とはいえず、仏道修行によって得られる境涯が、二乗の境涯である。

ハ、() 成仏とはゴールに到達するということではなく、妙法を受持して惡を滅し善を生ずる戦いを続ける境涯である。

二、() 法華經以外の經典では、十界は全く別々に存在する世界と説かれています。

ホ、() 絶対的幸福とは、物質的に充足したり、欲望が満ちたりた状態をいいます。

問十三 次の説明文のうち、正しいものには○、誤っているものには×を()に書き入れなさい。

イ、() 釈尊の久遠からの弟子で、大地の底から涌現してきたと説かれる無数の大菩薩は、地涌の菩薩である。

ロ、() 「立正安國」とは、まず国を安んずることによって、その後に正法を立てる」という。

ハ、() 法難とは、正法を誹謗することをさし、また正法を行ずる人を憎んで誹謗することも含まれる。

二、() 自行とは勤行(読經・唱題)であり、化他とは弘教である。

ホ、() 過去から積み重ねてきた宿業を今世に軽く受けて滅することを転重輕受といいます。

ヘ、() 僧侶による葬儀、法要、戒名などの化儀は、大聖人が定められたものである。

『数』にじだわる練習

次の「数」に関する問い合わせに答えなさい。「数」にじだわる問題です。

問一 準備体操です。「十界」を書いてみよう。

- ①() 界) ②() 界) ③() 界) ④() 界)
⑤() 界) ⑥() 界) ⑦() 界) ⑧() 界)

⑨() 界) ⑩() 界)

問二 「二乗」とは、「十界」の何をさしていますか。

- ①() 界) ②() 界)

問三 「三悪道」とは、何をさしていますか。

- ①() 界) ②() 界) ③() 界)

問四 「四悪趣」の四つを答えなさい。

- ①() 界) ②() 界) ③() 界) ④() 界)

問四 「四聖」の四つを答えなさい。

- ①() 界) ②() 界) ③() 界) ④() 界)

問五 地涌の菩薩の導師(衆生を導く師)である「四菩薩」の名を書いてみよう。

- ①() 菩薩 ②() 菩薩 ③() 菩薩 ④() 菩薩

問六 「六道の凡夫」の「六道」を答えなさい。

- ①() 界) ②() 界) ③() 界) ④() 界)

- ⑤() 界) ⑥() 界)

問七 「十如是」を答えなさい。

- 如是() 如是() 如是() 如是()

- 如是() 如是() 如是() 如是()

- 如是() 如是()

問八 「十界」を「三悪道」と「六道」と「一乘」と「四聖」に分けてそれぞれ書きなさい。

「11)悪道」

①() ②() ③()

「六道」

①() ②() ③() ④() ⑤()

⑥()

「1) 乗」

①() ②()

「四聖」

①() ②() ③() ④()

問九 「一念三千」の法門は、三つの法理が総合して成立しています。これらの法理を答へなさい。

①() ②() ③()

『仏法用語』をひらく練習

問一 次の①から⑥の用語について、内容として適切なものを次の文章から選び、それぞれⒶ～Ⓐの記号で答えなさい。

①三障四魔(さんしょうしま) () ②転重輕受(てんじゅうきょうじゆ) () ③二類の強敵(さんるいきょうとう) ()

④自行化他(じぎょうけた) () ⑤宿命転換(しゅくめいてんかん) () ⑥以信得入(いしんとくにゅう) ()

※次の文章をしつかり読むことが、勉強です。

ア、智慧第一の舍利弗も、信をもつて初めて法華經の法理を会得できた。一切衆生は、「どう」とく信をもつて成仏することができると説いた。

イ、自分が法の功德を得るために修行し、そして、他人に功德を受けさせるために仏法を教える実践をする」とい。

ウ、正法を信じ行ずるときに、これを阻もうとして起る働き。

エ、末法に法華經を弘通する者に二種類の強い迫害者が出現する。と、法華經勸持品第十三のなかで説かれている。

オ、仏法では、過去の宿業は現世の苦惱として現れますが、現世に妙法を行じて各自の生命に仏界の境涯を顯す」とにより、その宿業の報いも現世で罪業を滅する」ことができると説きます。

カ、仏法では、過去から積み重ねてきた宿業を、今世に軽く受けて滅する」ことができると説きます。

問二 次の①から⑥の用語について、内容として適切なものをあととの文章から選び、それぞれ記号で答えなさい。

①広宣流布(こうせんるふ) () ②一念三千(いちねんさんぜん) () ③諸法実相(しよほうじつそう)

④無作三身(むさんじん) () ⑤十界互具(じつかいごぐ) () ⑥久遠実成(くおんじつじょう)

※次の文章をしつかり読む」ことが、勉強です。

ア、この現実世界において、さまざまな姿をとつてあらわれている「すべての現象」と「究極の真理」である」とを意味している。しかし、これは具体的な現象から離れない。

イ、本来のまま、ありのままの仏。久遠元初自受用身と同義。

ウ、十界のおのの生命に十界がそなわつてゐること。

エ、仏法を広く世界に弘め伝えること。

オ、実は久遠の昔に成仏したという真実の姿である「本仏」の立場のこと。

カ、私たちの瞬間瞬間の生命に、すべての現象、働きを意味する諸法が具わつてゐること。

おまけ：即身成仏と同義（同じ意味）の四字用語は？（
そしんじょうぶつ）

問三 次の①から⑥の用語について、内容として適切なものをあとの文章から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ①立正安國（りっしょくあんこく） ②誹謗正法（ひぼうしょうほう） ③一生成仏（いっしょうじょうぶつ）
④久遠元初（くおんがんじょく） ⑤摩訶止觀（まかしかん） ⑥二大秘法（さんだいひほう）

※次の文章をしつかり読むことが、勉強です。

ア、中国・隋の時代の天台大師（智顥）の説で、法華經の法門である一念三千を示して、これを己心に証得する修行の方法を示した書。

イ、正法（釈尊の一切經、末法においては三大秘法の南無妙法蓮華經）を信じないでそしり、悪口をいうこと。
ウ、久遠実成の当初（以前）のこと。衆生の生命は本来清浄の本体であり、この本来の生命の姿を、南無妙法蓮華經という。

エ、正法を人々の信仰のよりどころとして確立し、社会の平和・繁栄と人々の生活の安穏を実現すること。
オ、衆生が九界の凡夫の身を改めることなく、御本尊を信受して、自行化他の実践に励み、仏の境涯を得ること。

カ、本門の本尊、本門の題目、本門の戒壇のこと。

世界広布と創価学会／問題編

『創価学会の歴史』に学ぶ

問一 次の①から④にあげた日にはどのよつな」とがありましたか。後の語群から選び、答えなさい。

- ①昭和年五年十一月十八日……()
- ②昭和十九年十一月十八日……()
- ③昭和二十年七月三日……()
- ④昭和三十五年五月三日……()

《語群》

イ、牧口初代会長逝去

ロ、池田第三代会長就任

ハ、戸田第一代会長就任

ニ、戸田第二代会長出獄

ホ、創価教育学会創立(創価学会の創立記念日)

問二 昭和十八年、牧口初代会長は日蓮正宗宗門からどのような申し渡しをされましたか。また、初代会長はその申し渡しを拒否されましたが、その理由を簡潔に述べなさい。

《申し渡しの内容》

《拒否した理由》

問三 次の()に適切な言葉を書き入れなさい。

- ①()こそ日蓮大聖人の大願であり、根本精神である。大聖人の御精神を継承して、この使命を担つて出現した教団が()である。

②戸田城聖第一代会長は、幸福には（ ）幸福と（ ）幸福の一いつがあると示されました。※（ ）は順不同でよい。

③軍国主義に傾斜し戦争への道をひた走る政府は、国内の思想統制を強化し、牧口先生と戸田先生は不敬罪と治安維持法違反容疑で逮捕されました。

その後、昭和二十年（ ）月（ ）日、戸田先生は出獄されて学会の再建に着手されました。

問四 現在、創価学会が授与^{じゅよ}している御本尊は、だれが書写^{しょしゃ}されたものですか。

問五 池田大作第三代会長（現名誉会長）の「事跡のうち、感銘をうけた事柄を2つ書いてみよう。

※ 大白蓮華の「三代の会長」の項目を年代順に整理してみよう。

『日顯宗を破す』

問一 次の御文は御書の一節です。その御書の名を答えなさい。

「如かず彼の万祈を修せんよりは此の一凶を禁ぜんには」

「須く凶を捨てて善に歸し 源を塞ぎ根を截べし」

御書名()

問二 仏法上の大罪に「五逆罪」があります。「五逆」の五つを答えなさい。

()

()

()

()

()

問三 宗門が戦前・戦時中を通して犯した謗法行為を二つ挙げなさい。

()

()

()

問四 次の御文の()の中に適切な言葉を書き入れなさい。

大聖人は法華經の敵を責めてこそ成仏できると、「()ふかきものも()のかた

きをばせめず、いかなる大善をつくり法華經を千万部読み書きし()

たる人なりとも()の敵をだにも・せめざれば得道ありがたし」と()指南されています。

※ 一歩進んだ問題です。担当者に指導を受けて頑張ってみてください。

問五 次の文章の()の中に正しい言葉を書き入れて文章を完成させなさい。

日顕宗では、「法主は大御本尊と不^二_一」の尊体である「など」と、「法主絶対論()」を立てています。

しかし、日興上人は法主も誤りを犯すことを予見され、「()」の中で「時の()」を構えば之を用う可からざる事」と()に相違して()を構えれば之を用う可からざる事」と戒められています。

問六 日顕宗では、法主が絶対であると考え、神秘的な血脉の嘘を記しています。「」の邪義を破折しなさい。

≪メモ≫

実践問題に慣れる練習／問題編

問一『教学入門』の「日蓮大聖人の御生涯」に関して、問い合わせに答えなさい。

一、文応元年(1260年)7月16日に提出された立正安国論について次の問い合わせに答えなさい。

イ・立正安国論を受け取った人を次の()から一人選び、○で囲みなさい。

(平左衛門尉 北条時頼 東条景信)

ロ・立正安国論で予言された二つの災難は何ですか。次の中から一つを選び、番号を○で囲みなさい。

- 1、人衆疾疫難
- 2、他国侵逼難
- 3、自界叛逆難
- 4、日月薄蝕難

二、竜の口の法難と佐渡流罪について次の問い合わせに答えなさい。

イ・竜の口の法難の年月日を次の()に書き入れなさい。

(文永 年 月 日)

ロ・竜の口の法難と佐渡流罪について述べた次の1～3の文のうち、正しいものには○を、誤つているものには×を()に書き入れなさい。

- 1、()大聖人はこの法難の時、捕らえにきた
極楽寺良觀を諫めた。
- 2、()大聖人はこの法難の時、久遠元初自受用報身如来という本地を顯した。
- 3、()大聖人はこの法難の時、額に傷を負い、左手を折られた。

ハ、佐渡において大聖人が著された「人本尊開顕の書」の名を、次の()に書き入れなさい。

()

三、次の文章の()に入る適切な言葉を、後ろの《語群》から選んで、記号を書き入れなさい。

大聖人は弘安2年(1279年)の()の法難において農民信徒が不惜身命の信心を示した()とに応じて、()総与の大御本尊を顯されました。

また、弘安5年(1282年)に、()上人に法を付嘱し、御入滅されました。

《語群》 イ、小松原 ロ、熱原 ハ、一闇浮提

二、日本国 ホ、日目 ヘ、日興

問二 『教学入門』から問い合わせに答えなさい。

一、次のイ～ホは「十界」の各界について述べたものです。あてはまる界の名を、それぞれの()に書き入れなさい。

イ、苦しみに縛られた最低の境涯であり、自身をとりまく世界全体を苦しみと感じる

……()界

ロ、仏の悟りを得ようとして不斷の努力をするとともに、仏の教えを伝え弘めて人々を救済しようとする境涯……()界

ハ、自分と他者を比較し、常に他者に勝らうとする「勝他の念」を強く持つてゐる境涯

……()

界

二、穏やかで平静な生命状態にあり、「平らか」とされている境涯……()界

ホ、生命の真実を悟つた尊極の境涯……()界

三、次のイ～ハは「三証」についての説明です。あてはまる三証の名を、それぞれの()内に書き入れなさい。

イ、教えを実践した結果が生活にあらわれる」と……()証

ロ、教えが仏典の裏づけをもつてゐる」と……()証

ハ、教えが道理にかなつてゐる」と……()証

三、「信・行・学」について述べられた諸法実相抄の次の御文の()に正しい言葉を書き入れなさい。

「あひかまえて・あひかまえて・()つよく候て三仏の守護をかうむらせ給うべし、

()の二道をほげみ候べし、()たえなば仏法はあるべからず」

四、「広宣流布」に関する次の御文の()に入る言葉を、後ろの《語群》から選んで、記号を書き入れなさい。

「日蓮が()広大ならば()は万年の外・()までもながるべし、日本国の一

切衆生の盲目をひらける功德あり、()の道をふさぎぬ」

《語群》 イ、南無妙法蓮華經 ロ、利益 ハ、慈悲 ニ、未来 ホ、淨土 ヘ、無間地獄

五、「難を乗り越える信心」に関し、次の問い合わせに答えなさい。

イ、三障四魔の「三障」の名を書きなさい。(順不同)

口、三類の強敵のうち、人々から仰がれている高僧が権力者を動かして弾圧するのは何に当たりますか。

() 増上慢

ハ、「宿命転換」に関する1～3の問い合わせの答えとして最も適切なものを、それぞれの()から一つづつ選び、記号を○で囲みなさい。

a、仏法では宿命は何を原因として形成されていると説きますか。

(1、生まれついた環境 2、過去世の自身の行為 3、神仏により決められた役割)

b、何によつて宿命を転換することができる大聖人は仰せですか。

(1、諸天善神の計らい 2、妙法の受持と実践 3、慈善事業など社会への貢献)

c、過去から積み重ねてきた宿業を今世に軽く受けて滅することを何といいますか。

(1、転重輕受 2、灰身滅智 3、因果応報)

六、「信心と生活」の項から挙げた次のイ、ホの御文の()に入る言葉を、後ろの《語群》から選んで、番号を書き入れなさい。

イ、「月月・日日につより給え・す」しもたゆむ心あらば()たよりをうべし」

ロ、「今日蓮等の類の修行は妙法蓮華經を修行するに難来るを以て()と意得可きなり」

ハ、「御みやづかいを()とをぼしめせ」

二、「仏法と申すは()をさきとし、王法と申すは賞罰を本とせり」

ホ、「教主釈尊の出世の本懐は()の振舞いにて候けるぞ」

《語群》

1、人 2、仏 3、魔 4、祈り 5、安樂 6、勝負 7、謗法 8、法華經

問三 「日蓮大聖人の御生涯」「創価学会の歴史と実践」から問い合わせに答えなさい。

一、次の文は、日蓮大聖人があわれた法難に関するものです。下の()の中に法難の名を書き入れなさい。

イ、地頭・東条景信の軍勢の襲撃を受け、額に傷を負われた。()の法難

ロ、平左衛門尉によつて頸の座にすえられた。この時、発迹顕本された。()の法難

ハ、立正安國論を提出された後、念佛者たちによつて草庵を襲われた。()の法難

二、次の日蓮大聖人の御事跡の月日を[]の中に書き入れなさい。

イ、立宗宣言　〔建長五年　月　日〕

ロ、立正安國論　〔文応元年　月　日〕

ハ、大御本尊建立　〔弘安二年　月　日〕

三、次のイからハにあげた田にはどのようなことがありましたか。あと《語群》の中から正しいものを一つずつ選び、その番号を()の中に書き入れなさい。

イ、昭和二十年(一九四五年)七月三日……()

ロ、昭和三十五年(一九六〇年)五月三日……()

ハ、昭和五十年(一九七五年)一月二十六日……()

《語群》1、牧口初代会長逝去　2、池田第三代会長就任　3、戸田第二代会長就任

4、戸田第二代会長出獄　5、SGI結成　6、第一回海外指導

四、戸田第二代会長は逝去の前年、創価学会の平和運動の原点となつた宣言をされました。その宣言を何といいますか。

()宣言

五、現在、創価学会が授与している御本尊は、だれが書写されたものですか。

()

問四 「日蓮大聖人の仏法の実践」から問い合わせに答えなさい。

一、信行学の importance を述べられた諸法実相抄の御文のうち、その一節を書きなさい。

()

二、次の文の()には二つの言葉が入っています。正しいほうの番号を○で囲みなさい。

イ、勤行は(1、自行 2、化他)にあたり、弘教は(1、自行 2、化他)にあたる。

ロ、方便品・寿量品の読誦は(1、正行 2、助行)にあたり、唱題行は(1、正行 2、助行)にあたる。

三、次の文の()に適切な言葉を書き入れなさい。(順不同でよい。)

イ、戸田第二代会長は、幸福には()的幸福と()的幸福があることを示しています。

口、三障とは、（ ）障、（ ）障、（ ）障です。また、四魔のうち、貪り、瞋り、癡などの心が信心を破壊するのを（ ）魔といい、第六天の魔王の働きが信心を破壊するのを（ ）魔といいます。

ハ、三類の強敵とは（ ）増上慢、（ ）増上慢、（ ）増上慢の三つです。

問五 「日顯宗を破す」から問い合わせに答えなさい。

一、宗門が戦時中、日蓮大聖人の「精神に背いて行った行為を一つあげなさい。

（ ）

二、日顯宗が創価学会を破門したことは、仏法上どのような罪にあたるかを書きない。

（ ）

三、次の文章の（ ）に入る正しい言葉を書き入れなさい。

日蓮大聖人の民衆救済の御精神を受け継いだ日興上人は「未だ（ ）せざる間は身命を捨て隨力弘通を致す可き事」と遺誠されました。日顯宗は学会を破門して、「の誠めを破りました。

また、日顯宗が唱える法主絶対論も、日興上人の「時の貫主為りと雖も（ ）に相違して己義を構えば之を用う可からざる事」と遺誠されています。

以上

法華経の口マンを味わう

問一 法華経では、たいへんすばらしいドラマが展開されています。次の①～⑤の内容は、法華経二十八品のどの品で展開されているものでしようか。(答えは漢字で記入)

①一切の人々が未来に間違いなく、成仏できることを釈尊が説きます。

()品 第() ⇒ ()品 第()

②七宝で飾られた巨大な宝塔が大地から湧現し空中に浮かびます。その宝塔の中に多宝如来がいます。続いて、全宇宙から一切の仏や菩薩が来集します。靈鷲山にいた大衆も虚空に浮かび説法が始まります。(虚空会)

()品 第() ⇒ ()品 第()

③大地の下方から「地涌の菩薩」が召し出されます。

()品 第() ⇒ ()品 第()

④永遠の如来が自身の本来の境地であることを明らかにします。

()品 第() ⇒ ()品 第()

⑤地涌の菩薩に仏法の一切を付囑します。(別付囑とも結要付囑ともいう)

()品 第() ⇒ ()品 第()

⑥すべての菩薩・諸天に仏法を託す。(総付囑)

()品 第() ⇒ ()品 第()

問二 法華経と爾前経とのちがいを述べた次の文章の()に適切な言葉を書き入れなさい。()の中にはそれぞれ漢字二字が入ります。

爾前経では、何度も生死を繰り返して凡夫(九界)の境涯を脱して成仏する修行のあり方が説かれます。これを()修行といいます。これに対して法華経では、凡夫が現世にそのままの姿で成仏で生きると説きます。これを()成仏といいます。この法華経の成仏の法理を別の角度から表現して()即菩提、()即涅槃ともいいます。

問三 法華経述門の中心的法理を述べた次の文と御文の（　）の中に正しい言葉を書き入れて文章を完成させなさい。

諸法実相の「諸法」とは、この（　）において、さまざまな姿をとつてあらわれている「すべての（　）」です。

「実相」とは、「究極の（　）」です。

「諸法実相抄」で「下（　）より上（　）までの十界の依正の（　）・悉く（　）ものゝやす（　）のすがたなり」と言われています。

問四 法華経本門の中心的法理を述べた次の文の（　）の中に正しい言葉を書き入れて文章を完成させなさい。

法華経の（　）品第十六で釈尊が今世ではじめて（　）した「（　）」というこれまでの考え方を打ち破り、釈尊は（　）というはるか（　）の昔に成仏して以来、この（　）に常住してきた仏であると明かします。

問五 次の文の（　）の中に正しい言葉を書き入れて文章を完成させなさい。
ただし、言葉は（　事　）（　理　）のどちらかです。

法華経の述門では（　）の一念三千、本門では（　）の一念三千がそれぞれ明かされています。文底獨一本門の（　）の一念三千に対した時は、本門・述門の一念三千はとともに（　）の一念三千となります。

問六 次の文の（　）に適切な言葉を書き入れなさい。

見宝塔品から囁累品までの会座を（　）会という。そこでは釈尊と（　）如来の一仏が並坐している。

※「法華経」の全体展望ができるように、この教材の最後に、「法華経概略図」を添付してあります。

問七 「地涌の菩薩」について述べた次の文の（　）の中に正しい言葉を書き入れて文章を完成させ、その四人の導師を答えなさい。

地涌の菩薩とは、法華經の（　）品第十五で、釈尊が滅後弘通のために大地から呼び出した無数の（　）をいいます。この地涌の菩薩は、（　）の釈尊に教化され「成仏のための根源の法」をすでに所持しており、（　）と同じ仏としての生命境涯を持ちながら、菩薩の姿で悪世（　）に（　）をしていく使命を帯びているのです。

地涌の菩薩の四人の導師
↓
（　）
（　）
（　）
（　）

問八 「不輕菩薩」について述べた次の文の（　）の中に正しい言葉を書き入れて文章を完成させなさい。

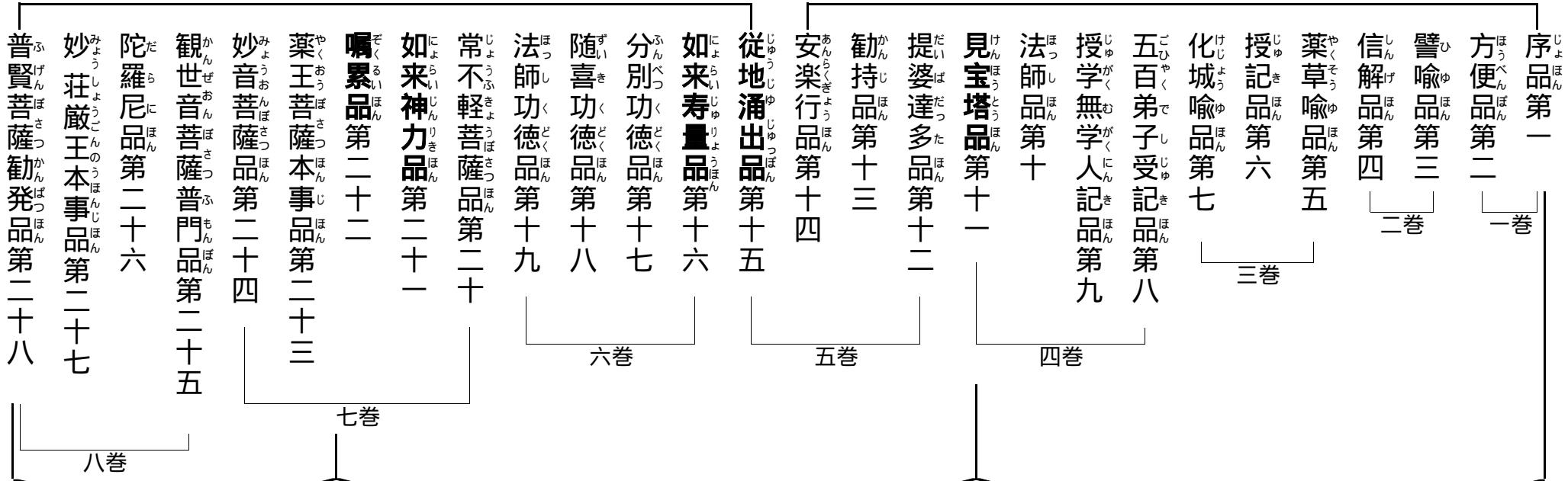
法華經の（　）品第二十で説かれる不輕菩薩は、「我れば深く汝等を（　）、敢て（　）せず。所以は何ん、汝等は皆な（　）の道を行じて、當に（　）する」とを得べし」と「（　）の法華經」を説いて、一切衆生を礼拝し続けました。

問九 「人の振る舞い」について大聖人が述べられた次の御文の（　）の中に正しい言葉を書き入れて文章を完成させなさい。

「一代の肝心は（　）・法華經の修行の肝心は（　）にて候なり、（　）の人を敬いしは・いかなる事ぞ教主釈尊の（　）は人の振舞にて候けるぞ、穴賢・穴賢、賢を人と云いはかなきを（　）といふ」



本門 - 『久遠実成』を明かす



宝塔品…巨大な塔(宝塔)が出現し、仏の滅後の弘教の難しさを説き、菩薩たちへ弘教の決意を促(うなが)す。

提婆達多品…「悪人成仏」・「女人成仏」を説く。

勸持品…菩薩たちが迫害を恐れずに弘教することを誓う。

安樂行品…法華経を弘(ひろ)める方法を説く。

涌出品…無数の地涌の菩薩が大地を割って踊り出てくる。

寿量品…釈尊が「永遠の仏」を説く。

分別功德品～法師功德品…弘教による功德を説く。

不輕品…「法華経を弘める人」の福德と、その「弘教者」を毀(そし)る人の罪を説く。

神力品…地涌の菩薩に仏の滅後の弘教を託(たく)す

別付囑(べつふぞく)(結要(けっちょう)付囑ともいう)

囑累品…すべての菩薩・諸天に託す 総付囑(そうふぞく)

「虚空会の儀式」

仏の滅後において、「弘教を“だれ”に託すか」ということを明らかにする付囑の儀式なのである。

実は、宝塔品の中程から囑累品の終わりまでに説かれているこの「虚空会の儀式」は、「おとぎ話」なんかないのです。私たちが御本尊の前に端座し、勤行・唱題する姿こそ「虚空会の儀式」なのです。そして、この時御本尊に広宣流布の誓いを立てることこそが「付囑の儀式」なのです。

『法華経の智慧 / 第5巻』で池田先生は、付囑の儀式を通して、末法に、この御本尊を所持している「人」を指示し、最大に称賛したのです。(中略)「二処三会」には、深い意義があった。それは法華経全体の構成によって、「現実の世界から『永遠の生命の世界』へ」(靈鷲山から虚空会へ)、そしてまた「現実の世界へ」(虚空会から靈鷲山へ)という“人間革命のリズム”を示している。(p.322～325)

「虚空会」での説法のあらすじ